

NGO入門



2007年初版作成・2017年改訂

認定NPO法人 名古屋NGOセンター

目次

- ① NGOとはなにか（言葉）
- ② NGOとはなにか（活動）
- ③ NGOとNPOの違い
- ④ NGOの組織運営
- ⑤ NGO活動の資金

NGOとはなにか（言葉）



- NGO = Non Governmental Organization
- 国連が発足した時(1945年)に発効した国連憲章の第71条の中で用いられている用語です。各国の政府が集まって構成される国連の会議に、専門性をもった活動を行っている政府ではない組織(NGO)を参加させ、彼らの意見を取り入れようとしたのが始まりです。
- 今日では、国連との協議資格の有無を問わず、開発、人権、環境、平和などの地球的規模の諸問題の解決に「非政府」かつ「非営利」の立場から取り組む市民主導の組織のことを、「NGO」と呼ぶのが一般的です。

NGOとはなにか（活動）



- 紛争地域や自然災害地域での人道支援活動（＝緊急救援、難民救援など）。
- 地域社会・人々が自ら問題解決力を高める、地域開発協力活動。
- 活動から得た知見を基礎とした、調査・研究・分析・政策提言活動。
- 自国の人々に、平和・人権・環境・開発課題での、世界の現実や構造を理解してもらうための、開発教育／地球市民学習活動。
- 国内の地域活動を行っているNGOも増えている。

NGOとNPOの違い



- NPO(Non Profit Organization)は日本語に訳すと非営利組織、NGO(Non Governmental Organization)は日本語に訳すと非政府組織となります。
- 日本ではNPOは、1999年に制定された「特定非営利活動促進法(NPO法)」により法人格を持てるようになり社会に知られました。
- しかし、基本的に大きな違いはありません。NPOもNGOにも市民がボランティアに社会課題とかかわるといふ共通の原則があります。市民による活動の経営方針(非営利)の面を強調したときにNPO、政府との立場の違いを強調したときにNGOが使われていることが多いです。

NGOの組織運営



- 特定非営利活動法人格（NPO法人格）、一般財団法人などの法人格を取得している団体や法人格を持たず、任意団体としてしている団体の大きく2つに分かれる。
- 事務局（有給/専従職員）を持たず、ボランティアが活動の中心となっている団体も多い。

<参考>名古屋NGOセンター加盟団体48団体の区分（2017年3月末現在）

特定非営利活動法人 (NPO法人)	認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)	任意団体	公益財団法人	公益社団法人	一般財団法人	合計
14団体	8団体	21団体	3団体	1団体	1団体	48団体

NGO活動の資金



- NGOの活動資金はおもに、以下にあげる収入でまか
なっています。
 - ①会費・寄付金
 - ②参加費・事業
 - ③助成金・補助金（公的・民間）
 - ④事業委託
- 自主的、自律的な運営のためには、上記の収入をバラン
スよく確保していくことが必要です。